

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり玉島（児童発達支援事業所）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年2月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チーム連携にて、利用児の支援を考え、実施することが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、終礼にて日々の支援について振り返りを実施している。 ・個別支援計画書に関する会議を行い、チームで支援を実施している。 ・職員間で気付き共有できる雰囲気作りを各職員が心がけている。 	<p>今後も職員間で利用児、家族等についても振り返りを実施していき、それぞれの成長に繋げていきたい。</p> <p>職員間での気づきを伝え合える雰囲気作りを作り、チームで支援を実施出来る様にしたい。</p>
2	地域の所属園・校とも連携を実施して、利用児さんの姿を把握して互いに共有することが出来る。	<ul style="list-style-type: none"> ・所属園に定期的に訪問を実施して、園での姿を共有している。 事業所内の小集団での姿だけではなく、地域で過ごす姿も把握していきながら、支援の組み立てを行っている。 ・連絡帳を園・家庭・事業所の三者で共有して、それぞれの姿を把握する様に努めている。 ・就園・就学する利用児さんへの引き継ぎを書面、訪問にて実施をしていること。 	<p>引き続き、所属園との連携を実施して、地域で過ごす中での課題を把握して、支援に繋げていきたい。</p> <p>また、園での姿を保護者にも分かりやすく伝えていき、事業所で取り組むべき課題についても共通認識が持てる様にしたい。</p> <p>引き継ぎでは、利用児さんの姿を丁寧に伝えていき、切れ目のない支援を実施していける様に、互いの機関での情報共有を定期的実施していく必要がある。</p>
3	事業所内だけではなく、他事業所とも協働して家族支援を進めていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、定期的に茶話会、勉強会等を実施している。 ・今年度は他事業所と合同でペアトレや勉強会を実施していき、保護者同士の繋がりの場を広げていった。 ・地域で活動する自助団体への参加も行い、合同で勉強会や茶話会等を実施した。 	<p>地域の中で保護者同士の繋がり、地域の情報を得られる様に、今後も保護者の自助団体への参加をしていき、一緒に活動を計画していきたい。保護者同士が互いに育児の不安等を話したり、先の情報を得たりできる場を今後も事業所の中で設定していく。また、地域の他事業所とも勉強会、茶話会を合同で実施していくことも検討したい。</p>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設的环境整備について →老朽化、階段についてなど	<ul style="list-style-type: none"> ・階段が建物上急であり、職員、利用児が少し登りにくい。現在職員は必ず付き添い安全に登り降り出来る様にしている。 ・建物が経って年数も経つ為、環境整備について見直して清潔な環境を整える必要がある。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々職員間で環境整備に努めている。 ・気付いた部分は修繕を実施して、利用児さんが安全・安心に過ごせる様に工夫、見直しをしていきたい。 ・職員間で月1回の安全点検を今後も丁寧に実施して清潔な環境を整えていきたい。
2	母の会の活動の支援、保護者会の開催、きょうだい向けのイベントの開催等に柔軟性がもてていない部分	<ul style="list-style-type: none"> ・母親だけの参加が多く、母親の茶話会、勉強会は主催しているが、家族（父親、祖父母等）、きょうだい児に対してのアプローチまで手が回っていないのが現状。 ・平日は仕事をしている保護者が多く、案内を出しても参加者が集まらないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降は、母親だけではなく、父親等が参加できるプログラムをつくってきたい。 ・父親同士が交流できる場、日々の関わりについて相談出来る場も設定していきたい。 ・利用児だけではなく、きょうだい児支援も実施していき、きょうだい児が活躍できる、認められる場を設定していくことも検討したい。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向いたり、地域住民を行事に呼んだりすることは出来ていない。 ・地域住民と繋がるきっかけが把握できていない。 ・事業所周辺の地域住民とのつながりが無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは地域の中でどんな取り組み、行事がされているか関係機関を通して把握をする。 ・まずは地域に出向いた活動を実施していき、事業所について繋がるきっかけを作っていきたい。